

作成日：2014 年 1 月 6 日

改訂日：2017 年 2 月 15 日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 マルエス水切テープ

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東 2 丁目 23 番 4 号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用テープ 等）

整理番号 NU-B014

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性/刺激性	区分 2	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	
眼損傷/刺激性	区分 2B	気道刺激性	区分 3

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

- ・ 皮膚への刺激
- ・ 眼への刺激
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

<安全対策>

- 1) ガラス繊維に触れると皮膚、眼、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。
 - ・ 長袖のゆったりした衣服、保護手袋、保護眼鏡及び防塵マスクを着用して下さい。
 - ・ 取扱い後、石鹼を用いて温水で洗い、うがいを励行して下さい。
 - ・ 切断した場合の屑は、速やかに袋に入れる等粉じんの飛散に注意して下さい。
 - ・ 作業衣は、他の衣類等とは別に選択してください。

- ・かゆみ、痛みが続くときには医師の診断を受けてください。
- 2) ガラス繊維自体は不燃性ですが、ガラス繊維のバインダー、サイズは一般には可燃性です。特に羽毛、風綿は火種があると容易に着火します。
- ・取扱い場所や排気ダクト内等の羽毛、風綿の除去に努めてください。
- ・グラインダーや溶接機などを使う場合は、予め、十分な清掃をしてください。

<廃棄>

- ・ 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物

化学名

一般名 ガラスメッシュ付き PET テープ

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
E-ガラス	—	特定できない	—	65997-17-3
ポリエチレンテレフタレート	—	(C ₁₀ H ₈ O ₄) _n	(7)-1022	25038-59-9

その他：はく離フィルム等を加え全体で 100%

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 清浄な水で 10 回うがいをして下さい。また、軽く鼻をかんで下さい。もし鼻や喉にかゆみなどの異常が残るようであれば医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 絶対にこすらないで下さい。(皮膚に刺さった場合には、毛抜きで刺さったガラス繊維を折らないように注意して抜いて下さい。)
最初、流水で洗い、次いで温水で石鹸を用い洗って下さい。
入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ吐き出させる。不快感が残るようであれば、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、大量の水が有効である。
- 特定の消火方法 : 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
- 消火を行う者の保護 : ガラス繊維自体は不燃性ですが繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は可燃です。燃焼すると炭酸ガスと一酸化炭素などの有毒ガスを発生するので消火作業には呼吸器用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 屋外に散乱した場合は、風などで飛び、電線に絡み付く等の二次災害の発生となる恐れがあるため、速やかに集めて処分する。
- 除去方法 : 袋などの入れ物に回収し、安全な場所に移す。

二次災害の防止策 : 廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

- 技術的対策 吸い込んだり、眼、皮膚に出来る限り触れないようにする。
- 注意事項 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。
- 安全取扱い注意事項 必要に応じて保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する。

保管 :

- 適切な保管条件
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 - ・ 雨水や直射日光を避けるために防水シートで覆うこと。
- 安全な容器包装材料 特殊包装紙など。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

管理濃度及び許容濃度 :

成 分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH ^b (2009)
E-ガラス	設定なし	—	—
ポリエチレンテレフタレート	設定なし	—	—

保護具 :

- 呼吸器用の保護具 状況に応じて防塵マスクを使用（使い捨て式）。
- 手の保護具 状況に応じて皮手袋を使用する。
- 目の保護具 状況に応じてゴーグルタイプ眼鏡を使用する。
- 皮膚及び身体への保護具 状況に応じて静電気防止作業衣、安全靴を使用する。
- 適切な衛生対策 : 現在のところ有用な情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : テープ状。
- 色 : 白色ないし灰色。
- 臭い : 特になし。
- pH : データなし。
- 物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲 : データなし。
- 融点 : 840℃（ガラス繊維）。
- 沸点 : データなし。
- 初留点 : データなし。
- 引火点 : データなし。
- 発火点 : データなし。

マルエス水切テープ

爆発特性： データなし。
 蒸気圧： データなし。
 蒸気密度： データなし。
 比重： 2.6（ガラス繊維）
 溶解性 水に不溶。
 オクタノール／水分配係数：データなし。
 分解温度： データなし。
 その他のデータ：特になし。

10. 安定性及び反応性

安定性： 常温、単独では安定である。
 反応性： 情報なし。
 避けるべき材料： 水分類。
 危険有害な分解生成物：ガラス繊維自体は不燃ですが繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は可燃です。燃焼すると炭酸ガスと一酸化炭素などの有毒ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性： 情報なし。
 皮膚腐食性・刺激性：区分2。職業暴露で機械的刺激により、強い刺激を生じた。これらの機械的刺激は一時的であり、5 μm 以上の繊維との関連がある。また職場暴露で刺激性の皮膚炎も生じている。
 眼に対する重篤な損傷性・刺激性：区分2B。職場暴露で機械的刺激性が認められている。この機械的刺激は一時的であり、5 μm 以上の繊維との関連がある。
 呼吸器感作性又は皮膚感作性：分類できない。
 生殖細胞変異原性：分類できない。
 発がん性：区分外。IARC 区分3 日本産業衛生学会で3群に分類されている。
 生殖毒性：分類できない。
 特定標的臓器・全身毒性―単回暴露：区分3（気道刺激性）。職場暴露で一時的な気道刺激性が認められているが、暴露がなくなると消失する。
 特定標的臓器・全身毒性―反復暴露：分類できない。ガラス長繊維は吸入の可能性がなく、また労働者の疫学調査においても健康への有意な悪影響は認められていないとの情報がある。
 吸引性呼吸器有害性：分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性：
 水性環境有害性：データなし。
 残留性／分解性：データなし。
 残留性：データなし。
 分解性：データなし。
 生体蓄積性：データなし。

移動性：データなし。

13. 廃棄上の注意

廃材料、包装用紙等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国連分類： 該当しない

国連番号： 該当しない

国内規制

- ・ 下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

陸上： 消防法 該当しない。

海上： 船舶安全法 非危険物

航空： 航空法 非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件： 取扱い及び保管上の注意の項に従う。

15. 適用法令

消防法： 該当しない。

労働安全衛生法： 該当しない。

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) ホームページ GHS分類結果データベース

原料メーカーのSDS

日本塗料工業会編集 「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」

日本塗料工業会編集 「原材料物質データベース」

国際化学物質安全カード(ICSC)

製品安全データシートの作成指針(改訂版) 日本規格協会(平成13年10月)

日本工業規格 JISZ7252：2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法

危険物船舶運搬及び貯蔵規則 12 訂版 海文堂

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。